令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

校 名			倉敷工業高校			
実践者等			江谷 英順	実践日	7月6日・23日	
実践場面 (教科·科目(単元名)、学校行事等)			研修会(教職員への研修会)			
(教科·科白《年九石》、子校刊事书》						
対象生徒(学年等)						
育成を目指す資質・能力			■知識・技能 ■思考力・判断力・表現力等 □学びに向かう力・人間性			
分類	授業中	口クラウ	ウドやアプリの活用 □ デジタルデータの保存 □思考やデータの可視化			
		ロデータ	□データの共有や共同編集 □対話を充実させる活用 □思考を促す活用			
□□表現を		□表現を	E充実させる活用 □課題のやり取りと評価の支援 □効率化や省カ化			
	■その他(校内研修)					
	^{家庭学習} ■振り返り □探究 ■反転学習 □補習・定着					
実践の内容						

教職員向けの Chromebook 活用研修会

【本校の現状】

一人一台端末を持っている学年は、本年度1年生のみである。今後、全校生徒が端末を持った場合に備えて、どのように活用できるかを ICT 推進班で進めている。

【本年度取り組んだ項目】

4月 プロジェクター活用研修会

5月~2月 ミニ Chromebook 講習会

7月 数回 Chromebook 講習会 YouTube 活用研修 等

→ライブ配信ではなく、オンデマンド型での配信を目的とし、あくまで Chromebook

のみで、録画から配信までをセットにした講習

【今後の課題】

教職員側がどのように Chromebook を活用していけるかを、普段から話し合う必要があると感じた。授業だけでなく、補習や課外活動での利用も増えていくと思うが、そうなった場合、データの管理や、セキュリティなど考えなくてはいけない課題は山積みである。